

うをの目が痛し青葉の異人街

野本 京

神戸の元町画廊で行われた「米寿記念、永田耕衣展」へ行った。当時の「鷹」編集長小澤實さんが誘って下さった。目の前で見た大野一雄の舞踏の静けさと激しさに感動してふるえた。青葉の頃は、うおの目も活発になるのか、ハイヒールで歩くのが辛かった。

昭和六十二年作